

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IQLino豊中校					公表日	2025年	5月	日
		チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
			はい	いいえ						
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	6			広くはないですが安全に配慮しながら活動できるスペースを確保しています				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			基準を満たす職員配置を適切に行っています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			バリアフリー化は建物の構造上難しいですが、必要に応じて補助をしています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		毎日活動終了後、掃除と消毒を行っています。また換気やウィルスバスターを使用し空間を清潔に保てるようにしています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			個別の部屋はないですが、ロールスクリーンを下す等して対応できる環境を整えています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。				朝礼時等にこどもの様子を話し合い、情報共有を行い業務改善を行っています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			保護者向け評価を行い、保護者様の意向を把握し改善に繋げています。				
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			面談時や朝礼時には職員からの意見を出してもらい、みんなで話し合える場を設けています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6			現在のところ実施予定はありませんが必要に応じて検討していきます			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			法人内で毎月1度の研修に参加しています。またプログラム研修への参加もしています。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			LaZo株式会社のHPIにて公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			アセスメントを行い、保護者様やお子様のニーズや課題を把握し、分析した上で児童発達支援計画を作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			個別支援策定会議を行い、検討しています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			職員で共有し、計画に沿った支援を行っています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			日々の支援の中で行動観察を行い、記録することによりこどもの適応行動の状況を確認しています。				
適切な支援の提	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様や家族のニーズを踏まえたうえで個々に応じた項目および具体的な支援内容を設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		スタッフ間で前回の様子等を話し合いどのような内容でプログラムをするのかを話し合いながら立案しています。	今後もスタッフからの意見を出し合いながら立案できるよう工夫していきます。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			毎週違うプログラムを組んでいます。同じねらいの中でもそれぞれの発達段階に応じたプログラムを実施できるよう工夫しています				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもの状況に応じて机上での個別活動と小集団での活動を機見合わせながら個別支援計画を作成し支援しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		事前の準備打ち合わせを毎日行いながら支援を行っています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援後に職員間で話合ったり、翌日朝礼時に支援の振り返りを含めて共有事項を話合っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		当日の支援の様子は記録として残し、支援の検証改善へと繋げています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必ず半年に1回以上のモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			地域交流の場が不足しているため地域との関わりを増やせるイベント等を検討していきたいと思います。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			自己選択や考える機会を増やし、必要に応じて選択肢を与える等の工夫をして自己決定が出来るよう工夫しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			協力医療機関を定め、連携が出来るよう体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		現状保護者様を通じての情報共有となる事が多いので直接共有できるよう検討していきます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		必要に応じて保護者様のよりご希望に応じて園と連携し情報共有を行っています。	連携の仕方等、課題点があるので改善出来るように努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4			現在対象者はいませんが今後移行がスムーズに出来るよう情報収集等をしていきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3			今後児童発達支援センターと連携を図っていただけるよう検討していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6			今後イベント等などを通して交流できるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		時間の関係上参加できない場合もありますが可能な範囲で参加できるよう検討しています。	今後参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時や連絡アプリを活用しお子様の様子を毎回お伝えし、課題点等をお伝えしております。また保護者様からもお話を伺うようにしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		毎月1度様々のテーマを設け、講師による子育てカレッジを開催しています。また3か月に1回のイベントを開催しています		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				契約時に説明をしています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				初回は見学時、利用開始後はモニタリング時にアセスメントを行い意向の確認をしています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				児童発達支援管理責任者より支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ています。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				モニタリング時や送迎時、電話での相談について対応し、支援や助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	3か月に1回定期的に親子イベントを開催し、保護者様同士が交流場を設けています	スペース上、場所を区切った保護者だけの交流会を行う事が難しいですが開催できる工夫を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情や相談について申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		連絡アプリや2か月に1度インフォメーションを作成し配布しています。またブログ等SNSを使用しての発信も行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いについては契約時に保護者様へ説明し、十分に留意しながら取り扱っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個別に対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		利用者、ご家族での参加枠しか設けていないため、お友だち等が参加できる枠を設けるなど検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを作成し、訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、災害発生に備え訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に事前に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		事業所内でおやつ等の提供は行っていません。保護者の方に契約時アレルギーの確認をしております	今のところ対応が必要なお子様はいませんが、必要な場合は対応します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画を作成し、保護者の方へ配布、説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		小さな事でもヒヤリハットを作成し、スタッフ間でも共有し再発防止に向けた対策について検討しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に数回虐待防止についての研修を行っています。また虐待防止委員会での話し合いをスタッフ間で共有する等行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に説明し、同意書に署名をいただいています。		